

第3回「全国栄養経営士のつどい」札幌大会 130人が参集し、栄養経営士の役割を議論



全国各地から集まった栄養経営士を前に、開会の挨拶を述べる宮澤代表理事



特別講演1で講演を行う塩澤氏



児玉北海道支部長



特別講演2で講演を行う秋山氏



実践活動報告後のディスカッションで座長を務めた山下茂子理事

栄養経営士へふくらむ期待 今こそ地域をつなぐ存在に!

一般社団法人日本栄養経営実践協会は3月24日(土)、ACUA(アスティ45)(北海道札幌市)において第3回「全国栄養経営士のつどい」を開催した。昨年の福岡大会に続き行われた今大会のテーマは、「栄養経営で地域をつなぐ」栄養経営士に求められる新たな役割」。全国から130人の栄養経営士が集い、会場は熱気に包まれた。

地域で活躍する
栄養経営士をめざそう

大会は当協会の宮澤
靖代表理事による開会
の挨拶で幕を開けた。

宮澤氏は冒頭、協会の
活動が5月で5年目を
迎えるなか、北海道を
はじめ地域支部の活動
が活発化していること
への感謝を伝えた。

続いて、日本栄養経
営実践協会北海道支部
支部長の挨拶として児
玉佳之氏(医療法人社
団佳生会)が在宅内

科緩和ケアクリニック
院長)が登場。「在宅医
療の質向上をめざし
て、管理栄養士、栄養経
営士の皆さんに、在宅
の現場に出てきてほし
い」とエールを送った。

多職種の視点を養い
栄養連携を促進

特別講演1では、厚
生労働省保険局医療課
課長補佐の塩澤信良氏
が「2018年度診療
報酬改定が示す方向性
と管理栄養士に求めら
れる役割」をテーマに

登壇した。塩澤氏は、
今改定における基本方
針や大幅な見直し
があった入院医療評価
系などについて解説し
た後、管理栄養士が関
わる項目について紹
介。入院前からの栄養
スクリーニング等を評
価する入院時支援加算
の新設や、回復期リハ
ビリテーション病棟入
院料1における栄養管
理の充実など、今回の
改定で新たに設けられ
た管理栄養士の役割に

ついて、積極的に参画
してほしいと呼びかけ
た。また、介護報酬改
定にもふれ、新設され
た再入所時栄養連携加
算を例に挙げて、医療
機関と介護保険施設と
の連携の重要性を強調
した。

続いて、児玉氏によ
る基調講演「地域包括
ケアシステム構築のた
めに求められる在宅栄
養管理と栄養経営士の
責務」が行われた。自
身が経営するクリニッ

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう!

第6回
「栄養経営士」
資格認定試験

2018年6月10日(日)

- 受験料: 8,000円(税込)
- 試験会場(予定): 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡
- 受験資格: 管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
DVD視聴による受講も可能です!

3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジ
メントのすべて」付き

くわしくは

栄養経営士

検索





特別ディスカッションでは会場からも多数の質問があがった

クが、全国で初めてケ
リニックとして日本静
脈経腸栄養学会のNS
T稼働施設に認定され
たことを報告したうえ
で、「在宅・地域連携
NSTのエビデンスは
まだ確立されておら
ず、診療報酬上でも評
価されるのが難しい」
と語った。地域での実
践を通じて、栄養経営
士がエビデンスを蓄積
してほしいと訴えた。

午後の部は、NPO
法人マギーズ東京共同
代表理事・マギーズ東
京センター長の秋山正
子氏が、特別講演2
「地域包括ケアをめざ
して」多職種連携の実
際と栄養経営士への期
待」に登壇した。秋
山氏は、訪問看護に取
り組むなかでの在宅医

療・ケアの実例、そし
て地域の相談支援の場
「暮らしの保健室」で
の活動を紹介しなが
ら、多職種連携の必要
性を語った。そして、
「地域での暮らしを支
えるということは、最
期まで口から食べるこ
とを支えること」と同
義であると強調。その
点で、管理栄養士には
予防の視点と生活を支
える視点を持った職種
として期待を寄せてい
ると語り、「在宅医
療・ケアを支える仲間
として一緒に取り組ん
でいきたい」とメッ
セージを送った。

栄養経営士4人が登壇 日々の実践を報告

続いて、4人の栄養
経営士による実践活動
報告が行われた。

最初に登壇した中頓
別町国民健康保険病院
の鈴木恵子氏は、教員
から病院管理栄養士へ
と転職し、挑戦と挫折
を繰り返しながら、必
要とされる管理栄養士
をめざして奮闘する
日々についてユーモア
を交えながら報告。
「管理栄養士が病棟に
いることが普通である
風土をつくりたい」と
今後の目標を語った。

次に登壇した社会医
療法人慈恵会聖ヶ丘サ
テライトクリニックの
相馬梨沙氏は、同法人
の医療機関と介護老人
保健施設が抱えていた
食事の質向上という課
題に対し、マネジメント
トスキルを発揮し、取
り組んだ経緯を発表し
た。

3番目は、医療法人
溪仁会手稲溪仁会病院
田中智美氏が登壇し、
独自に作成して1年前
から運用を始めている
管理栄養士教育ラダー
を紹介。「部門のビ
ジョンが明確化された
だけでなく、病院がめ
ざすべき方向性や求め
られる役割の理解が深
まっている」と成果を
語った。

最後に登壇した医療
法人財団明理会東戸塚
記念病院の千葉枝里子
氏は、栄養経営の視点
をNST専従である自
身の活動に取り入れた
ことで、チームマネジ
メントの課題解決を導
いた取り組みについて
発表した。これから
は、「NSTだけでなく
、栄養科をはじめ院
内全体で栄養サポート
を行う体制構築に励み
たい」と述べた。

地域の明るい未来に 栄養経営が求められる

プログラムの最後を
飾った特別ディスカッ
ションには、座長の宮
澤代表理事のほか、秋
山和宏副代表理事、眞
壁昇理事、吉田貞夫理
事が勢揃いし、「栄養
経営士がつかなく地域の
未来」をテーマに、そ
れぞれが注力する地域
医療への活動や地域連
携などについて意見が
交わされた。

「栄養経営士に求め
ることは何か」という
宮澤氏からの問いかけ
に対して、秋山氏は
「超高齢社会のツボは
栄養だ」と思っている。
私たち医療従事者はス
キルを社会に役立てて
いくべき」と提案。吉
田氏は「高齢者はフレ
イルティの段階で食
止めることが大事。栄
養経営士が地域に根付
き、中心となって予防

に取組んでほしい」、
眞壁氏は「マネジメン
トの源流にあるのは教
育であり、相手の考え
方を理解する力を意味
するもの。さまざまな
学びを通じてチャン
スをつかんでほしい」と
期待を寄せた。



懇親会で挨拶をする古畑公理事

閉会挨拶には、日本
栄養経営実践協会北海
道支部理事の武部久美
子氏から「マネジメン
トスキルを持った栄養
経営士として地域で活
躍していくためにも、
さらなる研鑽を積んで
いこう」と力強い言葉
が送られ、会は幕を閉
じた。

- ◆札幌大会 協賛企業一覧◆
- アイドゥ株式会社 / アサヒグループ食品株式会社 / 株式会社上野印刷所 / 株式会社HプラスBライフサイエンス / エレクトラ株式会社 / 株式会社おごそ / 一般社団法人介護福祉指導教育推進機構 / 北沢産業株式会社 / 株式会社ケイ・エスピー / 溪仁会グループ / 株式会社トップ / 日清オイリオグループ株式会社 / 株式会社日新写植 / 株式会社日本医療企画 / 一般社団法人日本医療経営実践協会 / 株式会社日本エム・エス・ディー / 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 / ネスレ日本株式会社 / ネスレヘルスサイエンスカンパニー / 林兼産業株式会社 / 株式会社ヘルシーネットワーク / 一般財団法人北海道介護ロボット推進協議会 / 株式会社マステック / マルハニチロ株式会社 (五十音順)

札幌大会で実践活動報告を行った発表者からのメッセージ

●報告テーマ
「教員から病院管理栄養士に転職して
すぐに栄養経営士を知った私の4年間」

鈴木 恵子 さん
中頓別町国民健康保険病院
栄養管理部門責任者



フロアから立ち上る熱風を感じながら話したのは初めて。「勇気をもらいました」と満面の笑顔と共に名刺をくださる方々。モチ期到来(?)の気分でした。田舎で独り管理栄養士の私は上司に恵まれました。上司にやりたいことを熱く語ってから4年。あのとき語ったことはほぼ叶いました。報告でも話しましたが、どんなによい上司でも、管理栄養士が提案、実行しないと何も始まりません。そして一瞬で過ぎていくチャンスを捉え、直ちに提案できるための準備しておくことが絶対に必要。提案が受け入れられると、もれなく多忙になります。でも、その先にはほかの専門職から認められて患者様のために働く幸せがあります。皆様も、ぜひお仲間!

●報告テーマ
「法人内における栄養部門の業務
見直しと在宅訪問栄養指導の現状」

相馬 梨沙 さん
社会医療法人慈恵会
聖ヶ丘サテライトクリニック
本部事務局企画支援部統括
栄養管理課長



「全国栄養経営士のつどい」に参加したのは今回が初めてです。熱気あふれる会場の雰囲気にも圧倒され、演題登録をしたことを少し後悔しました。しかし、パネルディスカッション座長の山下茂子先生やほかの演者の方々と事前打ち合わせで緊張が和らぎ、落ち着いて発表を行うことができました。発表では、法人の栄養部門の統括管理を行った2017年度の業務内容について報告しました。法人内の病院と施設の栄養課では、給食管理業務に共通した課題がある一方、栄養管理業務には個別の課題があります。それぞれの課題に対する解決策とアウトカムをわかりやすくまとめることに苦労しましたが、今回の実践報告を行ったことで自身の業務全体を客観的に評価するよい機会となりました。

●報告テーマ
「管理栄養士教育ラダー
導入の試み」

田中 智美 さん
医療法人溪仁会
手稲溪仁会病院
栄養部・部長



今回、実践報告をする機会をいただき、心より感謝申し上げます。日々迷いの中で業務を行っている私には、自分の方向性が正しいのか否か確かめるすべがありませんでした。今回の実践報告では、多くの方々からご意見やご感想をいただくことができ、問題意識の共有もできたことで、何物にも代えがたい収穫となりました。マネジメント業務とは、時に非常に孤独な取り組みですが、今回多くの栄養経営士さんとのつながりの中で、共通の悩みを抱えながら前向きに頑張っている仲間が全国にいることを非常に心強く感じました。栄養経営士という資格をどのように使いこなすかは自分次第です。たくさんの仲間と共に未来に向けて取り組んでいけたらと思います。

●報告テーマ
「栄養経営の視点から考える栄養
サポートチームのマネジメント」

千葉 枝里子 さん
IMSグループ
医療法人財団明理会
東戸塚記念病院
栄養科



NST運営を試行錯誤していた時期。栄養経営士の研究会でマネジメントを学ぶ機会があり、現状分析と問題解決のために今から何をすべきか、客観的視点で考えることができました。そして想像以上に早く問題点の改善につながったため、この勢いでアウトプットしようと報告する決心に至りました。結果をどう数値化するか苦労しましたが、数字で目に見える成果が出たことに自分でも驚き、1年の努力が報われた気がしました。当日は著名な先生方での発表でかなり緊張しましたが、先生方から温かいアドバイスをいただき、今後の方向性を見出すことができました。来年も他施設でどのように栄養経営を実践しているのか、皆様の報告をうかがえることを楽しみにしております。

「第33回 日本静脈経腸栄養学会学術集会」教育講演レポート

適切な栄養管理の実現でアウトカムを創出 病院経営に貢献できる栄養経営士になろう！

臨床栄養分野における日本最大規模の学会「第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会(JSPEN 2018)」が、2月22日(木)、23日(金)の2日間、パシフィコ横浜で開催された。2日目の教育講演では当協会の宮澤靖代表理事が登場。「経営的視点に立った栄養マネジメント 理論と実践」というタイトルで、栄養経営士の必要性を熱く語った。その内容を要約して紹介する。

管理栄養士は厨房から病棟へ 新しいビジネスモデルへの転換

私が所属する社会医療法人近森会は、第三次救急医療機関の近森病院(512床)を拠点に3つの病院を運営しています。当院のある高知県は65歳以上の高齢化率が全国第2位で、多くの患者さんが低栄養状態で入院して



病院経営に貢献できる栄養経営士になろうと訴える宮澤代表理事

れはなぜか。

1990年代以前は比較的体力のある若い患者が中心で、医師・看護師中心の少数精鋭の医療で対応できました。管理栄養士も食事センターにつきただけで、厨房と事務所で仕事が完結していました。

しかし90年代から2000年代にかけて、患者さんが急速に高齢化しました。患者さんの多くはさまざまなか併症を併発しており、高度で手間のかかる医療が求められるようになり、医師は治療に専念し、看護師は看護に集中できる、職種協働による多数精鋭のチーム医療が必要になったのです。管理栄養士も、きめ細かい栄養サポートを提供し、早期退院につながるという付加価値を求められるようになりまし

た。

つまり、管理栄養士は病棟に常駐しなければ

臨床栄養管理に絞る増員で黒字化 早期の経口摂取移行で早期退院を実現

病棟の栄養部門には、給食の事務管理、栄養委員会の会議の資料作成、労務管理、栄養指導、病棟での臨床栄養管理など、膨大な業務があります。スタッフの個々の能力に大差はなく、労働時間にも制約があります。そのうえ増員が図れないなら、どうすればいいのか？

答えは1つ、業務整理をするしかありません。つまり、限られたマンプワーを管理栄養士にしかできないコア業務に絞り込むのです。当院臨床栄養部はフードサービスを給食会社に全面委託し、書類作成は事務職員に依頼することで、全員を

ば経営に貢献できない新しいビジネスモデルの時代になったのです。

病棟常駐としています。管理栄養士が少数だった2005年までは赤字でしたが、2006年のDPC導入と同時に支出が逆転。以降、人件費に比例して収入もアップしています。

DPC方式とは入院基本料・検査・画像診断・投薬・注射等が包括され、診断群分類別に1日当たりの定額払いになるものです。在院日数が短い方が点数が高いので、投薬を減らし入院日数を短縮すれば、病院は儲かります。食事は包括外なので、早期に濃厚流動食による経腸栄養、経口摂取に移行できれば利益向上につながりま

す。そして消化管を使っ

て免疫機能を維持し、感染症等による合併症を低減できれば、抗生薬の使用も減ります。こうして臨床栄養管理に業務を絞り込んだ結果、現在の栄養サポートによる利益は年間約1億円となっています。2014年5月に立ち上げた、私が代表理事を務める一般社団法人日本栄養経営実践協会では、病院経営に貢献し得るマネジメントスキル、適切な栄養管理を実施して患者さんの早期退院というアウトカムを創出できる病態把握能力を習得した「栄養経営士」の育成を目標としています。管理栄養士の皆さんはぜひ、栄養経営士の資格を取得し、私たちと一緒に日本の医療と介護の未来を切り拓いていきましょう。

す。そして消化管を使っ

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能！
☆3枚組・特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます！
【こんな方におすすめ】
・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容
オリエンテーション。
「栄養経営士」に必要な能力について
1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力
■講師：宮澤 靖 代表理事ほか
■受講料(会場、DVDとも)：8,000円(税込)
■時間：10:00~17:00(予定)

2018年度 日程決定！

会場	日程
大阪	8月5日(日)
仙台	8月18日(土)
東京	8月19日(日)
福岡	9月2日(日)

日本栄養経営実践協会 情報掲示板

フォーラム情報

リハ栄養フォーラム2018

昨今、リハビリテーションにおける栄養管理の重要性がますます高くなっています。障害者や高齢者の方々の社会活動を支え、QOLを向上させるためにも栄養ケアは欠かせません。

リハ栄養フォーラム2018では、リハ栄養の最前線で活躍されている先生方を講師に招き、臨床で実践できるリハ栄養の知識を学びます。

- 日 程：【大阪】6月9日(土) 12:30～16:30
【東京】6月23日(土) 12:30～16:30
- 会 場：【大阪】TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋(大阪市中央区)
【東京】TKPガーデンシティ竹橋(東京都千代田区)
- 講 師：【大阪】前田圭介(医師)
愛知医科大学病院緩和ケアセンター ほか
【東京】若林秀隆(医師)
横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科 ほか
- 受講料(税込)：3,000円
- お問い合わせ：「リハ栄養フォーラム」事務局
(株式会社イベント・レンジャーズ内)
TEL：03-5418-5019
E-mail：rihaeiyo@e-toroku.jp

セミナー情報

症例から学ぶ栄養管理講座 宮澤SCHOOL

栄養サポートの基礎から実践までしっかり学び

知識の断片をつなげて病態を総合的に診られるようになる!

- 日 程：4月21日(土)～7月15日(日)(全10回)
- 総合監修：宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事、社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部長)
- 受講料(税込)：当協会会員:5,000円/回、一般:7,000円/回
- カリキュラム：5月19日(土)13:30～18:30「症例から学ぶ栄養アセスメントの基礎と実践」(講師:宮島功)
5月20日(日)9:30～16:00「症例から学ぶ腎臓病・糖尿病の病態と栄養サポートの考え方」(講師:宮島功)
6月9日(土)13:30～18:30「症例から学ぶ高齢者の病態と栄養管理のピットホール」(講師:齊藤大蔵)
6月10日(日)9:30～16:00「症例から学ぶ脳卒中の病態と栄養サポートのポイント」(講師:齋藤大蔵)
- 会 場：ニッテン神田ビル(旧もとみやビル)3階セミナールーム(東京都千代田区神田東松下17番地)ほか
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画セミナー事務局
TEL：03-3256-2885(担当:平山・原田)
- HP：https://www.jmp.co.jp/seminar/restaurant/m_school/2018/

学会情報

第10回日本静脈経腸栄養学会 首都圏支部会学術集会

- 日 程：6月2日(土)
- テ - マ：欠くことのできない医療の柱
～栄養管理の明確な位置付けを表現しよう～
- 特別講演：「マラソンと栄養管理」(仮題) 鷲澤尚宏(東邦大学医学部臨床支援室、東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター)、宇佐美彰朗(東海大学名誉教授、宇佐美マラソン・スポーツ研究室)ほか
- 会 場：東京ファッションタウンビル(東京都江東区)
- H P：http://www.congre.co.jp/metro-jspen2018/index.html

学会情報

第72回 日本栄養・食糧学会大会(岡山)

- 日 程：2018年5月11日(金)～13日(日)
- 特別講演：「栄養と肥満:腸管の役割」高橋吉孝(岡山県立大学保健福祉学部栄養学科)、稲垣暢也(京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学)、「人間の栄養に資する植物のミネラル輸送」中村宜督(岡山大学大学院環境生命科学研究科)、馬建鋒(岡山大学資源植物科学研究所)ほか
- 会 場：岡山コンベンションセンター、岡山県立大学
- H P：http://www.med-gakkai.org/jsnfs2018/

ロールプレイ式でプレゼン力を磨こう!

実践! 模擬NSTカンファレンスセミナー

医師や看護師、歯科医師が同席するバーチャルなNSTカンファレンスを設定し、実際の症例をもとに参加者が自分で考え、栄養管理計画を立案し、多職種とディスカッションしていきます。プレゼンテーション力、コミュニケーション力の向上を目指しましょう!

第3回 サルコペニアの栄養管理

開催日：5月12日(土)

講 師：高崎美幸先生(鶴巻温泉病院栄養サポート室室長)
大塚健一先生(日高リハビリテーション病院リハビリテーション科部長・医師)
高橋浩平先生(田村外科病院リハビリテーション科・理学療法士)

各回時間：13:00～16:30(予定) 主 催：ヘルスケア・レストラン 受講料(税込)：当協会会員:¥9,000/回、一般:¥12,000/回
会 場：ニッテン神田ビル(旧もとみやビル)3階セミナールーム(東京都千代田区神田東松下17番地)

第4回 認知症と栄養ケア

開催日：6月3日(日)

講 師：阿部咲子先生(介護老人保健施設スカイ)
蓮村友樹久先生(愛全診療所所長・医師)
平田祐子先生(老健都筑ハートフルステーション認知症ケア上級専門士・看護師)

【お問い合わせ】 株式会社日本医療企画 TEL:03-3256-2885(担当:平山・原田)